

さよなら箱崎キャンパス企画展示

金田平一郎と 九州大学附属図書館

平成30年

3.1(木) ▶ 3.26(日)

金田平一郎博士(1900-1949)は、九州帝国大学法文学部法制史講座の担当教授として、とりわけ江戸時代の民事法制度に関する数々の先駆的な業績を残しました。昭和3(1928)年末に九大に着任して以来、第二次世界大戦を挟んだ20年あまりの間、博士は膨大な歴史資料や文献を蒐集して大学の蔵書形成に大きく貢献し、法制史学における地域研究の基礎をも築きました。大学所蔵の文書群としてもユニークな九州大学附属図書館付設記録資料館の法制資料部門・九州文化史資料部門は、まさにこの所産です。戦後は第13代目の附属図書館長として、新制大学下の図書館の基礎造りに尽力しましたが、在職中に途半ばで亡くなりました。

昨年、博士没後に本学に収められた1000点以上に及ぶ旧蔵書や古文書が、「金田文庫」として文庫化されました。またご遺族からは、博士の日記や交流のあった著名な学者たちからの書簡、さらに福岡日日新聞(西日本新聞の前身)等への寄稿を自らまとめたスクラップブック、などをご寄贈いただきました。これらによって、これまで十分に知られていなかった博士の研究活動の実際はもとより、拠点となった激動期の九州帝国大学とそれを取り巻く福岡や箱崎の様子が、新たな側面から明らかになりつつあります。



豊後日田にて(昭和21年頃)

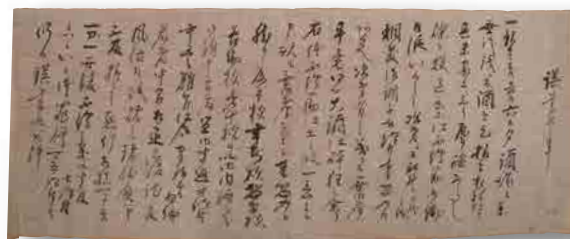
本展示は、この「金田文庫」を紹介するはじめての試みです。いよいよ閉館を迎える箱崎の中央図書館において、研究・教育を支える図書館のあるべき未来を見据えていた金田博士を顕彰し、ここ箱崎の地で培われた法文学部の学問伝統とそれを支えてきた図書館の歴史を振り返るとともに、時代は変わっても変わらない図書館の使命とは何かを省察するよすがにしたいと思います。多くの方々に、箱崎に刻まれた知的営為の歴史を感じていただければ幸いです。



1



2



3

- 1 着任時の日記
- 2 採訪日記(昭和13年熊本訪問の記事)九州文化史資料部門蔵
- 3 古野文書(福岡県鞍手郡)法制資料部門金田文庫蔵

監修

法学研究院 法史学講座 准教授 和仁かや
記録資料館 九州文化史資料部門 助教 梶嶋政司
人文科学府 歴史空間論専攻 博士後期課程 中川晃一

<タイアップ企画>

法学研究院・法学部同窓会主催箱崎キャンお別れイベント
「大人のオープンキャンパス」

